

1

be 動詞

◆指導ページ P.2～7◆

【主な学習内容】

- ◎ be 動詞の肯定文と否定文について、主語の違いによる be 動詞の変化に注意する。
- ◎ be 動詞を使った疑問文と疑問詞疑問文の作り方について学ぶ。

学習内容	補足・留意事項など
<p>① I am ～ . You are ～ . の文 ・ ③ This[That] is ～ . の文 ・ ⑤ He[She] is ～ . の文</p> <p>☆ 動詞が be 動詞の文→現在時制で[I / You]以外の単数主語の場合… be 動詞はすべて[is]</p> <p>① 主語が「I」のとき→〈I am ～ .〉…「私は～です。」</p> <p>② 主語が「You」のとき→〈You are ～ .〉…「あなたは～です。」</p> <p>③ 主語が「This」のとき→〈This is ～ .〉…「これ(こちら)は～です。」</p> <p>④ 主語が「That」のとき→〈That is ～ .〉…「あれ(あちら)は～です。」</p> <p>⑤ 主語が「It」のとき→〈It is ～ .〉…「それは～です。」</p> <p>⑥ 主語が「He」のとき→〈He is ～ .〉…「彼は～です。」</p> <p>⑦ 主語が「She」のとき→〈She is ～ .〉…「彼女は～です。」</p> <p>☆ 代名詞「he / she」の用法…人を表す名詞の代わりに使われる。</p> <p>① Tom / Jim / Bob / father / brother / boy / man / Mr.Smith など→「he」</p> <p>② Mary / Kate / Nancy / mother / sister / girl / woman / Ms.Green など→「she」</p> <p>② You are ～ . の疑問文 ・ I am ～ . You are ～ . の否定文 ・</p> <p>④ This[That] is ～ . の疑問文 ・ 否定文 ・ ⑥ He[She] is ～ . の疑問文 ・ 否定文</p> <p>☆ be 動詞の疑問文の作り方→be 動詞を文頭(主語の直前)に置く。</p> <p>① 主語が「you」のとき→〈Are you ～ ?〉…「あなたは～ですか。」</p> <p>② 主語が「this / that」のとき→〈Is this[that] ～ ?〉…「これ[あれ], こちら[そちら]は～ですか。」</p> <p>③ 主語が「he」のとき→〈Is he ～ ?〉…「彼は～ですか。」</p> <p>④ 主語が「she」のとき→〈Is she ～ ?〉…「彼女は～ですか。」</p> <p>・ 彼はジムのお父さんですか。→〈Is he Jim's father?〉</p> <p>・ 彼女は英語の先生ですか。→〈Is she an English teacher?〉</p> <p>☆ be 動詞の疑問文の答え方</p> <p>① 主語が「you」のとき→主語を「I」にして、be 動詞も am にする。</p> <p>② 主語が「this / that」のとき→主語を「It」にして、be 動詞も is にする。</p> <p>③ 主語が「he」や「男性」のとき→主語を「he」にして、be 動詞も is にする。</p> <p>④ 主語が「she」や「女性」のとき→主語を「she」にして、be 動詞も is にする。</p> <p>・ はい、そうです。→ Yes, he[she] is.</p> <p>・ いいえ、違います。→ No, he[she] is not. / No, he[she] isn't. / No, he's[she's] not.</p> <p>☆ be 動詞の否定文の作り方→be 動詞の直後に not を入れる。</p> <p>① 主語が「I」のとき→〈I am not ～ .〉…「私は～ではありません。」</p> <p>② 主語が「You」のとき→〈You are not ～ .〉…「あなたは～ではありません。」</p> <p>③ 主語が「This / That」のとき→〈This[That] is not ～ .〉…「これ[あれ], こちら[そちら]は～ではありません。」</p> <p>④ 主語が「He」のとき→〈He is not ～ .〉…「彼は～ではありません。」</p> <p>⑤ 主語が「She」のとき→〈She is not ～ .〉…「彼女は～ではありません。」</p>	<p>●短縮形を使う</p> <p>① I am = I'm</p> <p>② You are = You're</p> <p>③ That is = That's</p> <p>④ He is = He's</p> <p>⑤ She is = She's</p> <p>●文の読み方</p> <p>→ Yes/No 疑問文の最後は上げ調子(↗)に読む</p> <p>●否定文の3通りの表し方</p> <p>① She is not a singer.</p> <p>② She isn't a singer.</p> <p>③ She's not a singer.</p>
<p>⑦ What is ～ ? の文</p> <p>☆ What is ～ ? 「～は何ですか。」とたずねる疑問文の答え方</p> <p>・ Yes/No ではなく、たずねられているものを答える。</p> <p>・ あれは何ですか。→ What is that?</p> <p>・ 私の自転車です。→ It is my bike.</p> <p>●関連</p> <p>・ 答えの文では疑問文の this[that]を it にする。</p>	

【主な学習内容】

- ◎一般動詞の肯定文について、英文の基本構造を整理し、「3単現の-(e)s」のつけ方について確認する。
- ◎一般動詞の疑問文と否定文について、主語が3人称単数であるときの does に注意する。

学習内容	補足・留意事項など
<p>① have または has (持つ, 持っている)・② like, play, know, study, use など</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 3人称単数とは…「私」(I)と「あなた」(you)以外の単数の人やもの</p> <p>☆ 主語が3人称単数(he や she, 固有名詞など)のとき、一般動詞の語尾に「3単現の-(e)s」をつける。</p> <p>※ 「3単現の-(e)s」のつけ方</p> <p>① have「～を持っています」→ has を用いる。 ・彼女は素敵なかばんを持っています。→ She has a nice bag.</p> <p>② ふつう→sをつける。 ・具体例… use → uses like → likes play → plays know → knows</p> <p>③ 語尾が s, sh, ch, o のとき→ es をつける。 ・具体例… go → goes teach → teaches watch → watches</p> <p>④ 語尾が[子音字 + y]のとき→ y を i にかえて es をつける。 ・具体例… study → studies carry → carries ・彼女は私の家を知っています。→ She knows my house. ・ジムは毎日ピアノをひきます。→ Jim plays the piano every day.</p> </div> <p>③ 一般動詞の疑問文の作り方</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 主語が「3人称単数」以外のとき→ do を文頭に置く。 ・あなたは私の妹が好きですか。→ Do you like my sister? ・はい, 好きです。/ いいえ, 好きではありません。→ Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>☆ 主語が「3人称単数」のとき→ does を文頭に置く。 ・トムはあなたの姉を愛していますか。→ Does Tom love your sister? ・はい, 愛しています。/ いいえ, 愛していません。→ Yes, he does. / No, he doesn't.</p> </div> <p>Ⓜ関連</p> <p>・疑問文にすると動詞は原形になる。</p> <p>④ 一般動詞の否定文の作り方</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 一般動詞の否定文の作り方</p> <p>① 主語が「3人称単数」以外のとき→ do に not をつけた形(do not = don't)を使う。 ・私はこの少女を知りません。→ I don't know this girl. ・あなたはギターをひきません。→ You don't play the guitar.</p> <p>② 主語が「3人称単数」のとき→ do に es をつけた does に, not をつけた形(does not = doesn't)を使う。 ・彼はその子どもたちを知りません。→ He doesn't know the children. ・彼女は英語の本を1冊も持っていません。→ She doesn't have any English books.</p> </div> <p>Ⓜ関連</p> <p>・否定文にすると動詞は原形になる。</p> <p>⑤ 命令文の作り方・⑥ 禁止と提案を表す命令文</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 「～なさい。」という命令文→文頭に動詞の原形を置き, 主語を省略する。</p> <p>① 一般動詞の命令文 ・宿題をなさい。→ Do your homework.(一般動詞の命令文肯定形)</p> <p>② be 動詞の命令文 ・その女性に親切になさい。→ Be kind to the woman.(be 動詞の命令文肯定形)</p> <p>☆ 「～してください。」という丁寧な命令文→文頭か文末かに「please」をつける。 ・どうぞあの少年たちといっしょにサッカーをしてください。 → Please play soccer with those boys. = Play soccer with those boys, please.</p> <p>☆ 「～するな。」「～してはいけない。」という禁止を表す否定の命令文→〈Don't + 動詞の原形〉で表す。 ・ジム, この部屋を使ってはいけません。→ Don't use this room, Jim.</p> <p>☆ 「～しましょう。」という, 相手をさそう文→〈Let's + 動詞の原形〉で表す。 ・いっしょに野球をしましょう。→ Let's play baseball together.</p> </div> <p>Ⓜ関連</p> <p>丁寧な命令文で, 文末に「please」をつけるときは, 「please」の直前の位置にコンマ(,)を入れる。</p>	

3

いろいろな疑問文・助動詞 can

【主な学習内容】

◆指導ページ P.14～19◆

- ◎さまざまな疑問詞による疑問詞疑問文の形と意味について復習する。
- ◎助動詞 can を使う肯定文・疑問文・否定文の作り方を復習する。

学習内容	補足・留意事項など
<p>1 疑問詞</p> <p>☆ 疑問詞の用法→〈疑問詞＋ふつうの疑問文〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞を用いた疑問文に対する応答文では、Yes / No は使わない。 ・あなたはどの科目が好きですか。 / 私は理科が好きです。→ What subject do you like? / I like science. <p>☆ 疑問詞の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> → what「何」what + 名詞「何の～」 / which「どちら、どれ」 / who「だれ」 / whose「だれの」 / when「いつ」 / where「どこ」 / how「どのように」 ・あなたはいつそこへ行くのですか。→ When do you go there? ・だれがこの自転車を使いますか。 / 母です。→ Who uses this bike? / My mother does. <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞が主語になるときは、〈疑問詞＋動詞～?〉の語順になる。 ・who に続く動詞の語尾に〈3単現の -(e)s〉をつける。 <p>関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何時」と具体的な時間をたずねるときは、when ではなく〈What time ～?〉を使う。 <p>2 How + 形容詞〔副詞〕</p> <p>☆ 「どのくらい～」と数や期間の長さなどをたずねる文→〈How + 形容詞〔副詞〕～?〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは猫を何匹飼っていますか。 / 私は二匹飼っています。 → How many cats do you have? / I have two cats. ・富士山の高さはどれくらいですか。 / 3776メートルです。 → How high is Mt.Fuji? / It's 3776 meters high. 	<p>● how many …数 how much …量・値段 how old …年齢・古さ how tall …身長・高さ how high …高さ how far …距離 how long …長さ・時間 how often / how many times …頻度・回数 how soon …あとどれくらいで</p>
<p>3 助動詞 can ・ 4 can を用いた疑問文 ・ 5 can を用いた否定文</p> <p>☆ 助動詞とは…動詞の直前に置いていろいろな意味を付加する働きをする語</p> <p>一般的用法…助動詞は主語の人称や単数複数による変形がなく、直後の動詞はつねに原形。</p> <p>☆ 助動詞「can」の意味…「～することができる」という可能の意味を表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・彼女は上手にあの歌を歌うことができます。→ She can sing that song well. <p>☆ 疑問文の作り方→〈Can + 主語 + 動詞の原形～?〉で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答え方は、〈Yes, ～ can.〉「はい。～できます。」 / 〈No, ～ can't [cannot].〉「いいえ。～できません。」となる。 ・あなたたちはこれらの本を読むことができますか。→ Can you read these books? ・はい、できます。 / いいえ、できません。→ Yes, we can. / No, we can't. <p>※ 「Can I ～?」→「～してもいいですか」（許可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このペンを使ってもいいですか。→ Can I use this pen? <p>「Can you ～?」→「～してくれませんか」（依頼）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の手伝いをしてくれませんか。→ Can you help me? <p>☆ 否定文の作り方→〈主語 + can't [cannot] + 動詞の原形～.〉で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちはあまり上手に英語を話すことができません。 → We can't speak English very well. = We cannot speak English very well. <p>※ can't (cannot) + 動詞の原形→「～してはいけない」という禁止の意味を表すこともある。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・He <u>can</u>s play tennis. などとはならない。 	<p>● can not と2語で表記することもあるが、ふつう使われない。</p>

4

現在進行形・過去形

【主な学習内容】

◆指導ページ P.20～25◆

- ◎現在進行形について、動詞のing形の作り方、進行形の肯定文・疑問文・否定文を復習する。
- ◎過去形の肯定文・疑問文・否定文の作り方を復習し、不規則動詞の過去形について再確認する。

学習内容	補足・留意事項など
<p>① 現在進行形・② 現在進行形の疑問文・③ 現在進行形の否定文</p> <p>☆ 「～している」, 「～しているところだ」という意味の現在進行形の用法→〈主語+ am [is/are]+～ ing〉で表す。</p> <p>※ 現在形→現在の習慣や事実を表すときに用いる。 現在進行形→今まさにその動作をしているという状態を表すときに用いる。</p> <p>☆ 動詞の～ ing 形の作り方</p> <p>① ふつう→そのまま ing をつける。 具体例… read → reading study → studying</p> <p>② 語尾が e のとき→e をとって ing をつける。 具体例… use → using make → making</p> <p>③ 語尾が[短母音+子音字]のとき→子音字を1字重ねて ing をつける。 具体例… run → running</p> <p>☆ 「～しているところですか」という意味の現在進行形の疑問文→〈Are [Is/Am]+ 主語+～ ing … ?〉</p> <p>・あの少女たちは今その音楽を聞いていますか。 はい、彼女たちは聞いています。 / いいえ、彼女たちは聞いていません → Are those girls listening to the music now? Yes, they are. / No, they aren't.</p> <p>☆ 疑問詞のある現在進行形の疑問文→〈疑問詞+ are [is/am]+主語+～ ing … ?〉</p> <p>・あなたは今何をしているのですか。 私はテレビを見ています。 → What are you doing now? I am watching TV now.</p> <p>☆ 「～していない」という意味の現在進行形の否定文→〈主語+ am [is/are]+ not +～ ing〉</p> <p>・彼らは今宿題をしていません。 → They aren't doing their homework now.</p>	<p>●進行形にできない動詞→状態や感情などを表す動詞</p> <p>① 好きだ… like ② 愛する… love ③ 知っている… know ④ ほしい… want ⑤ 見る… see ⑥ 持っている… have</p>
<p>④ 規則動詞の過去形</p> <p>☆ 規則動詞の過去形の作り方</p> <p>① ふつう→-ed をつける。 具体例… talk → talked visit → visited</p> <p>② 語尾が e のとき→-d をつける。 具体例… like → liked use → used</p> <p>③ 語尾が[子音字+y]のとき→y を i にかえて -ed をつける。 具体例… study → studied carry → carried</p> <p>④ 語尾が[短母音+子音字]のとき→子音字を重ねて -ed をつける。 具体例… stop → stopped drop → dropped</p>	<p>●規則動詞の過去形 -ed の発音</p> <p>① 無声音 (f,k,p,s など) のあと ・ [t ト] helped [helpt ヘルプト]</p> <p>② 有声音 (f,k,p,s など) のあと ・ [t ド] listened [lɪsnd リスンド]</p> <p>③ [t], [d] のあと ・ [ɪd] wanted [wʌntɪd ワンティド]</p>
<p>⑤ 不規則動詞の過去形</p> <p>☆ 不規則動詞の過去形の分類</p> <p>① つづりが大きくかわるもの 具体例… go → went have → had make → made speak → spoke</p> <p>② 母音が変わるもの ([o → a] [o → e] [i → a] など) 具体例… come → came know → knew sit → sat sing → sang</p> <p>③ 形がかわらないもの 具体例… cut → cut put → put</p>	<p>●過去を表す語句</p> <p>① きゆう (昨日) → yesterday</p> <p>② きゆうの朝 → yesterday morning</p> <p>③ きゆうの午後 → yesterday afternoon</p> <p>④ きゆうの夕方 → yesterday evening</p> <p>⑤ 昨夜 → last night</p> <p>⑥ 先週 → last week</p> <p>⑦ 先月 → last month</p> <p>⑧ 去年(昨年) → last year</p> <p>⑨ この前の夏 → last summer</p> <p>⑩ この前の日曜日 → last Sunday</p> <p>⑪ 2日前 → two days ago</p> <p>⑫ 3週間前 → three weeks ago</p> <p>⑬ 4か月前 → four months ago</p> <p>⑭ 5年前 → five years ago</p> <p>⑮ そのとき → at that time → then</p> <p>⑯ 今朝 → this morning</p>
<p>⑥ 一般動詞の過去の疑問文</p> <p>☆ 過去の疑問文の表し方</p> <p>・一般動詞の過去の疑問文は、Did を主語の前に置き、あとの動詞を原形にする。</p> <p>・規則動詞でも不規則動詞でも、応答文では did を用いる。</p> <p>・規則動詞…[肯定文] You played tennis last Saturday. [疑問文] Did you play tennis last Saturday? [答え方] Yes, I did. / No, I didn't.</p> <p>・不規則動詞…[肯定文] He went to Kyoto last year. [疑問文] Did he go to Kyoto last year? [答え方] Yes, he did. / No, he didn't.</p>	
<p>⑦ 一般動詞の過去の否定文</p> <p>☆ 過去の否定文の表し方</p> <p>・一般動詞の過去の否定文は、did not [didn't] を用いて、あとの動詞を原形にする。</p> <p>・規則動詞でも不規則動詞でも同じである。</p> <p>・規則動詞…[肯定文] I lived in Canada two years ago. [否定文] I did not live in Canada two years ago.</p> <p>・不規則動詞…[肯定文] My mother gave me a book. [否定文] My mother did not give me a book.</p>	